

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)7月5日 No.1095

## 目次

1997年の日本と中欧諸国との貿易(2) .....	1
キーパーソン .....	9
「露・英・日 商業・金融・貿易用語集」発売 .....	10
CIS諸国通貨の最新為替レート .....	10

## 1997年の日本と中欧諸国との貿易(2)

本号では1997年の日本とルーマニア、ブルガリア、そして旧ユーゴスラビア諸国との貿易について報告する。

前号でみたように、日本とヴィシエグラード諸国との貿易は順調に拡大した。これに対して、上記諸国との貿易も、その規模こそ及ばないものの、大幅に増加している。円建てでみると、ルーマニア、ブルガリア、スロベニアとの貿易は、前年比でそれぞれ95.4%、54.4%、24.7%のアップを示し、より実態を表すと思われるドル換算でも、前年比74.3%（ルーマニア）、同39.5%（ブルガリア）、同12.9%（スロベニア）増であった。ただし、輸出入品の構成に関しては、日本からの輸入が一般機械、輸出が原料品や低廉な金属、化学品（ただし、スロベニアに関しては若干異なる）に偏っており、対ヴィシエグラード諸国貿易における高度化、多様化の傾向は見られない。

1991年より悪化の一途をたどった旧ユーゴスラビア紛争も、1995年に内戦当事国の首脳が米国デイトンにて和平協定に調印したことによってようやく収まった。それに伴って貿易も回復を見せ始め、1997年の対クロアチア、ユーゴスラビアの貿易総額は前年の2～3倍になっている。今後の日本からの投資の可能性は、今後の両国の政治的安定性にかかってこよう。

ルーマニア 対ルーマニア輸出において、金属機械が前年の19億5,900万円から一気に92億6,500万円と大幅に増え（前年比373%増）、輸出全体に占める比重は約66%となった。一方、前年には全輸出品の23.6%のシェアを占めていた電気機器は（金額では横ばいであったが）、1997年には9.2%に下がっている。輸入品構成はほとんど変わらず、鉄鋼が全体の32.9%（うち厚板は27.2%）、アルミニウム及び同合金が11.5%であった。

1997年7月にコンスタンチネスク大統領が訪日し、10月には経団連ミッションがルーマニアを訪問するなど、両国の経済関係が深まり、対ルーマニア投資の増加が期待されている。1998年に入って、トーメンが電力会社の民営化第一号となる、ブカレストのグロザベスチ電力に資本参加し、また光洋精工が国営ベアリング会社の株式を取得し、日本の製造業として初めて同国に進出した。